

[026/027]九州人類学会報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2320973>

出版情報：九州人類学会報. 26/27, 2000-11-22. Kyushu Anthropological Association
バージョン：
権利関係：

平成10年度 活動報告

[平成10年度 退会者・新入会員]

退会者 染谷 臣道、佐々木 衛、権藤 与志夫、永富 保元（死亡）

入会者 山田 千香子

[平成10年度 会員数及び会費納入者]

会 員 数 119人

会費納入者 54人（44%）

[平成10年度 例会発表]

6月総会（平成10年6月27日）

関 一敏（九州大学）

「具体の民俗、意識の宗教史—日本近代のはじまりと知識の配置替えについて—」

10月例会（平成10年10月24日）

韓 景旭（西南学院大学） 「中国朝鮮族の暮らし」

崔 仁宅（宮崎公立大学） 「韓国漁村社会の変貌を見る」

12月例会（平成10年12月26日）

岩尾 龍太郎（西南学院大学文学部） 「『絶海の孤島』—トポスの成立—」

3月例会（修士論文発表会、平成11年3月20日）

瓜生 和也（西南学院大学）

「アフリカ系アメリカ人の学校教育における「アフリカ」志向
—文化の「創出」と内面化の過程としての教育—」

福田 由佳（西南学院大学）

「アメリカの「民族集団」と「エスニシティ」に関する考察
—テキサスの日系人の事例研究をもとに—」

島村 奈生子（九州大学）

「商業化された民衆文化の語り方
—リオ・デ・ジャネイロにおけるエスコラ・デ・サンバの事例より—」

九州人類学会報 第26号（1998年度）は現在編集の途中。